

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	スーパー（営業担当）	・衣料分野は市場として大きく、販売促進の強化により、売上は上昇している。
		スーパー（店長）	・自社の他店舗が一部営業内容を変更したため、その店で満足できない客が、当店に流れてきている。このため、景気が良くなったということではないが、来客数、売上は前年を上回っている。
	変わらない	家電量販店（店長）	・新入学の需要の増加により、前年の110%を目標にしている。
		住宅販売会社（従業員）	・現場見学会への来客数がやや増加傾向にある。客との接触状況からもやや良くなると感じる。
		商店街（代表者）	・百貨店が12月に閉店し、客が郊外の大型店に流れて、商店街全体の売上、来街客は減少が続いている。
		スーパー（店長）	・春の到来が早そうなので、季節商品が前倒しの販売となり、全体の底上げになりそうであるが、1月が寒かった影響で、ピワなど果物の作柄が非常に悪く、売上が伸びないと予想される。
		スーパー（企画担当）	・依然として、客の慎重な購買態度は根強い。
		衣料品専門店（経営者）	・高級品に対する購入態度は慎重である。
		家電量販店（店長）	・シングルライフ需要やブライダル需要は比較的堅調に推移をしているが、ほかの商品は、単価の下落や客からの価格値下げ要求も強く、厳しい状況である。
		家電量販店（営業担当）	・入学、就職による購入は、購入点数が以前よりも減少している。また、価格を気にする客が多く、単価を上げられない。
		乗用車販売店（従業員）	・新車の発売予定もないため、あまり変化がない。
		一般レストラン（経営者）	・飲酒運転の罰則が厳しくなって以降、宴会、外食などはタクシー代、運転代行などの余分な出費を抑えるため、減少の傾向にある。長期の大きなイベント、例えば、全国大会など県外客の来訪などない限り、大き
	タクシー運転手	・歓送迎会等で人の動きはあると思われるが、昨年と比べると、絶対数は減少傾向にあるので、売上としては変わらない。	
	設計事務所（所長）	・学生向け賃貸マンションの家賃値下げは限界がきている。	
	住宅販売会社（従業員）	・商談数、モデルハウスへの来客数に大きな変化がない。	
	やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・来客数は増加、単価は減少という動向は、ここ数か月、同じ状態が続いている。ブランドにより、好不調がはっきりしており、顧客の選別が進んできている。
		スーパー（財務担当）	・今までは、特売日を設ければ、一定の売上げは確保できていたが、最近は相当な安売りのチラシを出しても特売日効果はなくなってきている。
		都市型ホテル（経営者）	・先行きの予約状況が良くなり、今後もさらに悪くなるという気がする。
		観光名所（職員）	・遠方からの来客数が減少し、地元の人が若干増加している。今後、遠方からの来客数が増加する見込みは少ないと思われる。
悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）	・無駄なものを買わないという感じで、財布のひもが固い。	
	衣料品専門店（経営者）	・来客数がなかなか増加しない。	
	通信会社（企画担当）	・将来に対する不安からか、販売量がだんだんと悪くなっている。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新商品が少しずつ認知され、取引につながっている。
	変わらない	家具製造業（経営者）	・集合住宅建設も年度末を終えて一段落した感があり、住宅着工数は大して伸びていない。
化学工業（営業担当）		・需要の低迷が続いている。メーカーは、供給過剰状態の長期化により、価格が、じり貧傾向となり、収益力が低下している。	

	一般機械器具製造業（経理担当）	・建設用クレーンの一部の機種で、排ガス規制の影響による新車需要の動きも見られるが、チャーター料金の低迷という構造的な問題により、本格的な回復には時間を要する。	
	建設業（総務担当）	・回復の兆しが見えず、低水準のまま推移するものと思われる。	
	金融業（融資担当）	・県経済の中心を占める建設業の工事受注高は、公共工事の減少から回復していない。	
	不動産業（経営者）	・客の動きがかなり良くなってきているが、一般的な賃貸や売上の金額は低下している。	
	広告代理店（経営者）	・広告を控える傾向が強くと、消費拡大は考えられな	
	広告代理店（経営者）	・取引先の倒産、売掛金回収の遅れ等が発生しており、依然として客の厳しい状況が続いている。	
	公認会計士	・経営者の中で、設備投資を今後3か月以内にするという考え方を持っている人は非常に少ない。むしろ経営の立て直しに全力投球するという考え方の人のほうが多い。資金繰りに関しては、依然厳しい状況が続	
	やや悪くなる	一般機械器具製造業（経理担当） 電気機械器具製造業（経営者）	
		・排ガス規制車の買い換えの動きが鈍い。 ・向こう数か月の売上見込みは、毎年この時期であれば、確実なものが半分以上を占めていたが、今年は予測、希望といったものが多い。	
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	-	
	やや良くなる	-	
	変わらない	職業安定所（職員）	・求職者数に減少傾向が見られ、求人倍率は上昇しているが、改善までには至らない。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・有効求職者は4カ月連続で対前年同月比減となったが、パートを含む有効求人倍率は0.57倍と前月比0.01ポイントのマイナスとなった。求人減に歯止めがかからないことと併せ、小売業を中心に老舗企業を含む倒産も増加しており、雇用環境の一層の悪化が懸念され
		職業安定所（職員）	・年度末の離職者や3月の契約期間満了者の離職者が増加し、雇用失業情勢は、なお一層厳しくなる。
	悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・営業所の閉鎖、大規模拠点への業務の統廃合などから、3月末で契約を終了する取引先が昨年に比べ多くなっている。今後も、派遣料金の値下げ要求や、派遣人数を減らす企業もあり、厳しい状況が続く。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・企業が新卒者の教育・研修等にかかる予算が、非常に減少している。